

令和5年11月定例記者会見要旨(令和5年10月25日)

1. 落雷で屋根が全焼した国宝「神谷神社本殿」の保存修理工事が始まった。完成予定の2025年9月は、瀬戸内国際芸術祭の秋会期に近い。全国から支援を受けた事業で、瀬戸芸などとリンクした記念行事などを計画しているか。

国宝「神谷神社本殿」の修復計画は、本殿の「保存修理事業」と「防災施設整備事業」の2つの事業を併せて3カ年で予定しており、「防災施設整備事業」につきましては、計画の後半（3年目）に、国庫補助申請を行う予定です。

本殿の「保存修理事業」が順調に進めば、令和7年（2025年）9月の瀬戸内国際芸術祭 秋会期ごろには、「防災施設整備事業」に着手していると思われませんが、防災施設の整備完了は令和8年3月までかかる見込みとなっています。

また、今回の国庫補助申請は、落雷による不測の事態による被害であったため、通常は、損傷状況の調査を行い、修復計画の精査を経て、国庫補助申請を行うべきところ、緊急対応により申請を行っております。

そのため、本殿の「保存修理事業」と「防災施設整備事業」、両事業ともに損傷箇所の状況により、修復計画を見直しながらの施工となり、当初の見立てから大きく計画変更を行う可能性があります。

瀬戸内国際芸術祭などとリンクした記念行事のアイディアは、魅力的な企画であると思いますが、残念ながら、現段階において正式に企画を立ち上げられる状況ではないことをご理解いただきたいと思います。